

「わたしたちの女川を読書の町に」

～読書をとおして家族のコミュニケーションを～

家読(うちどく)のすすめ

家読(うちどく)とは、「家庭での読書」のことで、学校の「朝の読書」読書習慣を広げることを目的としています。家族みんなで好きな本を読んで本の話をします。また、お互いに本をすすめあったり、家族で本を選んだなどによって家族のコミュニケーションを深めることができます。

茨城県^{だいごまち}大子町の子どもたちが考えました



家読(うちどく)の約束(例)

- ① 家族で同じ本を読もう!
- ② 読んだ本で話そう!
- ③ 感想ノートをつくろう!
- ④ 自分のペースで読もう!
- ⑤ 家庭文庫をつくろう!

＜家読のやりかた＞

- ★ 家族で話し合っ考えたルールでいいのです。
 - ★ 家族全員でなくてもいいのです。
 - ◎ 女川町の図書室に来てみてください。
- 家読のことがよく分かる資料を展示しています。

「家読」に関する講演会のお知らせ

- 日時・会場: 平成22年10月10日(日)午前9:30～ 生涯教育センター大ホール
- 講師: 佐川二亮(さがわ・つぐすけ)氏 <家読推進プロジェクト代表>
- 演題「家読(うちどく)で家族の絆づくり～朝読(あさどく)から家読(うちどく)へ～」
- ※ 詳しくは、後日「広報おながわ」や各学校の「図書室だより」などをとおしてお知らせしますので、ぜひご参加ください。

お父さんもお母さんも、おじいちゃんもおばあちゃんも
この夏、お子さんと一緒に「家読」に挑戦してみませんか?

担当 女川町教育委員会生涯学習課 生涯学習係
問合せ先 53-3131(内線375)